

○議長（河野）3番、浜口清海君。

○3番（浜口）はい、議長。3番、浜口です。

○議長（河野）浜口君。

○3番（浜口）はい。

○3番（浜口）3番、浜口。通告に従いまして一般質問をさせていただきます。

「気象変動に伴う異常気象に対する、本町の対策」を問います。

近年の気候変動に伴う異常気象は、そして地球温暖化は驚くばかりで、世界各国も早急に対策をとるべきですが、遅々として進んでいないのが現状です。昨年は熱中症による救急搬送者は過去最高で、香川県でも過去最高となりました。そして今後も夏の異常高温は続くでしょうし、それがために熱中症となる方も多発すると思います。本年、宮崎県西都市で3月26日30.2°Cと26年振りで、3月の真夏日を記録しました。昨年4月26日埼玉県熊谷市で30°Cを超える真夏日でしたが、本年最初の真夏日は昨年より1ヶ月早く到来しました。そしてこの5月20日には日本各地で真夏日となり、今年最多の200地点で30°Cを超える真夏日で、山梨県大月市は34.2°Cとなりました。

これを見ても地球温暖化は着実に進んでおり、気候変動に伴う異常気象の対策は日本だけでなく世界各国がその効果的な対策をとる必要があります。

それとともに、今年2月、3月と少雨そして日照りによる渇水、乾燥、強風により、山火事が多発しました。2月26日岩手県大船渡市で山火災が発生し、4月7日に鎮火するまで約2,900ヘクタールが焼失しました。また、3月23日岡山市南区でも565ヘクタールが焼失し、岡山県下過去最大の山火事となりました。また、香川の隣県、愛媛県今治市でも山火事が3月23日発生し、3月31日の鎮火まで約442ヘクタールが焼失しました。今回の山火事も愛媛県下過去最大の規模でした。続いて、宮崎市でも3月25日山火事があり50ヘクタールが焼失しました。

今年の山火事は、2月から3月までに大規模の山火事が4件と多発しており、特に大船渡市の山火事では記録の残っている日本の過去最大の被災規模となりました。これらの山火事の発生で大きな要因は、近年の気候変動に伴う異常気象がその要因の大きな一つだと伝えられております。

そこで、以下のとおり、気候変動に伴う異常気象への、本町の対策を問います。

1つ目です。猛暑対策・熱中症対策を問います。特に高齢者、小中学生、こども園の児童への対策。

2つ目。山火事への対策を問います。特に冬場の乾燥時期。以上、よろしくお願ひいたします。

○議長（河野）前田町長。

○町長（前田）はい、議長。

○議長（河野）町長。

○町長（前田）はい、議長。

○町長（前田）はい、ご質問にお答えをいたします。

近年、気候変動による災害の激甚化や、真夏日や猛暑日の日数増加に伴い熱中症リスクの増加など、気候変動と思われる影響は本町にも現れております。3月議会の施政方針でも表明しましたとおり、気候変動に対する対策を、町の重点施策として位置づけ、その取組みを強化するため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す、ゼロカーボンシティ宣言を行っております。

議員ご質問1点目の、「今年の夏の猛暑対策」でありますが、まず、発生率が高い高齢者への暑さ対策については、厚生労働省や環境省が作成しておりますリーフレット等を高齢者が集まる場所で配布し、熱中症予防の普及啓発・注意喚起を行っております。また、高齢者宅への訪問の機会のある民生児童委員やケアマネージャー、ヘルパーなどの民間業者からも注意を促しております。

次に、小中学校での暑さ対策については、今年度、町内全ての学校体育館の空調調整備が完了の予定となっております。また、暑さ指数の測定を毎日行い、こまめに休息や給水を取るよう注意喚起をするとともに、夏季休業中の部活動後には、冷房の効いた部屋で休んでからの下校を実施しております。

次に、こども園での暑さ対策については、毎年、職員間で熱中症対策マニュアルやガイドラインを再確認し、共通理解を図りながら保育活動を進めております。具体的な対策といたしましては、外遊びの際には、直射日光を遮る工夫としてプールやテラス、砂場等に遮光ネットやテントを設置したり、ミストシャワーを活用したりして暑さ対策をしております。また、子ども一人一人の体調を把握し、活動中も随時確認をしております。

また、町全体として、令和6年度から実施しております熱中症特別警戒情報（熱中症特別警戒アラート）発令時の指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）については、今年度、4月23日（水）から10月22日（水）まで綾川町内の13カ所の公共施設と12カ所の民間施設の合計25施設（受入可能人数1,245名）で運用を開始しております。また、熱中症特別警戒情報の発表以外でも、暑熱を避けるために開放することとしております。

2点目の、「山火事への対策について」でありますが、本町の火災は、令和5年が23件、そのうち林野火災は0件、その他火災が15件ありました。また、令和6年の火災件数は、26件であり、そのうち林野火災が2件、その他火災が15件ありました。綾川町は町の面積の約47%、51.42平方キロメートルが山林であり、ひとたび林野火災が発生すれば大船渡市のように大規模になる可能性はあります。本町の対策といたしましては、乾燥注意報が発令された際や週明けに雨が予想される週末など、火災発生の可能性が高いと思われるタイミングで、防災無線を通じて住民の皆様に注意喚起を行っております。

また、毎年3月に綾川町消防団及び高松市消防局高松市西消防署綾川分署、香川県防災航空隊の合同で林野火災防御訓練を行っており、林野火災が発生した場合には迅速な対応ができる体制を整えております。また、大規模災害時の相互の応援についての取

り決めをしている香川県消防相互応援協定に基づき、近隣市町に応援を要請するなどの訓練も取り入れてまいります。今後も引き続き、関係各所との連携を強化し、火災予防に向けた取組みを推進してまいります。以上、答弁とさせていただきます。

○議長（河野）再質問はございませんか。

○3番（浜口）はい、議長。

○議長（河野）浜口君。

○3番（浜口）はい。

○3番（浜口）町長、具体的な、懇切なご説明ありがとうございました。

私も町の施策、いろいろと聞いておりますが、やはり、これを実行し、継続ですね、やっぱり町民の方々に周知し、認識をしてもらうということが大事だと思いますんで。施策は、正しく、いい方向に進んでると思いますんで、これを継続して、町民への安全対策、町民の命を守る、健康を守る、これをですね、実施して推進をして欲しいと思います。

ただ、特に山火事につきましては、今後非常に危険性があります。本町ではですね、発生件数はほとんどないというふうにご答弁いただきましたが、今後、ますますですね、山火事は起こる確率が高くなります。山火事の原因の、日本では99%が、人的な要因による失火です。自然発火はほとんどございません。伐採のときの、発火。それとかですね、ごみを焼却したときの、火が転移するというふうなことはありますんで、十分、重々、対策はとらえておりますが、町民の方に安全対策をなお一層ですね、充実させていただいて、防火失火の対策、そして熱中症対策をとっていただければと思います。以上でございます。

○総務課長（福家）はい。

○議長（河野）福家総務課長。

○総務課長（福家）はい、議長。

浜口議員の再質問にお答えをいたします。

議員質問のとおりですね、山火事についてはこれから起こる可能性十分認識しております。人口減少でありますとか、エネルギーの変化に基づいてですね、山の管理ができていない状態で、それで食い止められた火事が広がるという可能性が十分あります。町長答弁でもありましたとおり、これにつきましては、十分認識をした上で、必要なタイミングでですね、必要な情報を住民の方に流していくというような対応をとっていきたいと思います。以上答弁といたします。

○議長（河野）再々質問はございませんか。

○3番（浜口）はい、議長。お願いします。

○議長（河野）はい、浜口君。

○3番（浜口）はい。

○3番（浜口）福家課長、答弁ありがとうございました。よろしくお願いします。

これは再々質問ですが、私の要望というよりか知りていただきたい数値がございま

すんで、答弁する必要はございません。

皆さんご存じだと思いますけども、世界の人口、今どれだけあるかは皆さんよくご存じだと思いますが、私の方から発表させていただきます。

2025年現在、81万5,600人が世界の人口です。言い間違えました。それは誠に間違います。掛ける1万倍、81億5,600万人ですね。ところが2000年、61億人でした。1900年、今から125年前、16億人です。振り返ってみると、西暦0年、2.3億人です。西暦1000年、3.2億人。1500年、5億人。非常に緩やかな増加から1900年以降ですね急激な伸びをしております。ということは、人口が増えると同時に、食糧も増えます。それ以上にモータリゼーション、石油も燃やします。発電もします。ますます、地球温暖化が起こります。これを止めるということは、町の執行部ではできないことなんで、皆さんに知って欲しいのは、ますます、地球温暖化は進むし、山火事の危険は起りますし、気象、気候変動による台風の強化、強風等々の災害は増えると思います。

町民へですね、そういうことも認知してもらい、町民に、やはり命を守る指導をですね、アピールを、認知をしていただいて、町民の命を守っていただければと思います。最後になりました要望でございます。以上です。

○議長（河野） 以上をもちまして一般質問を終わります。

○3番（浜口） どうもありがとうございました。